

ソスという神様の名前を取り、ISOからもじった) という我々の環境を課題とする機関誌ですけれども、この機関誌を通じて病院施設全体のゴミの流れを把握しました。

(OHP 3)

これが、病院施設のゴミの流れのフローチャートであります。見ていただいたらわかりますように、生ゴミが月間9,200kg。紙のゴミが7,500kg、紙おむつが6,200kg というような流れの中に、全ての河北総合病院施設内のゴミ、廃棄物が把握されたということになります。私達は独自に換算の方法を決めまして、全部重さで捉えるようにしております。

(OHP 4)

そういうようなことから、かつては私達は正確に把握できずに混乱した医療廃棄物や色々な資源の流れの中に、マネージメントシステムを導入しました。そして、各職場でどのような物が医療活動の中にインプットされ、そしてそこからどのような環境に影響を与えるような物がアウトプットされてくるのかということ、また直接関係する法律は何かを調べました。OHPは環境マネージメント室が用意したものでありますけれども、各職場に環境プロモーターを作りました。ドクターからナース、コメディカルのスタッフ約60名余の方々に環境プロモーターの役割を担っていただいて、全員が廃棄物の流れや資源の活用について考える、そのキャンペーンのようなものを、マネージメントシステムの構築の過程で行ったわけです。

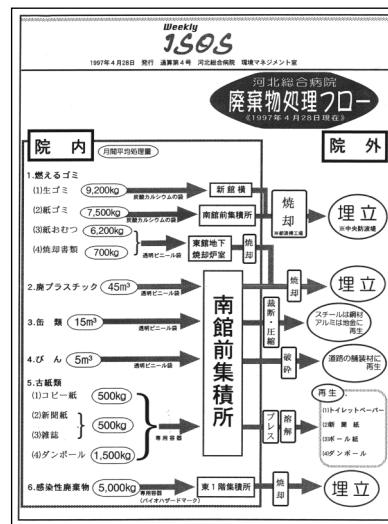
(OHP 5)

これは昨年作ったグラフですが、産業廃棄物が8月9月頃に急にピークになります。これは何だろうということで、業務サポートサービスという部門の人達がこの原因を調べてみた結果、実はペットボトルであるとか、空き缶の量が増えていたことが原因でした。施設を利用する多くの人々が、この季節には清涼飲料水を持ち込んでくるわけですね。そうすることで、その時期のペットボトルや空き缶の量が廃棄物として非常に高い数字を示しております。

(OHP 6)

これをどうしようかということを考える前に、理解

OHP 3



OHP 4

掲載内容	インプット するもの	アウトプット するもの	環境に配慮した 医療とは	読者の声
環境管理の現状と課題	環境、衛生、安全	環境、衛生、安全	環境に配慮した医療とは	読者の声
環境管理の推進	環境、衛生、安全	環境、衛生、安全	環境に配慮した医療とは	読者の声
環境管理の推進	環境、衛生、安全	環境、衛生、安全	環境に配慮した医療とは	読者の声

OHP 5

自らが大量消費大量廃棄の流を止めよう

【自らが大量消費大量廃棄の流を止めよう】

1000000
900000
800000
700000
600000
500000
400000
300000
200000
100000
0

しなくてはならないのは、私達の病院という場所は、大量消費をして大量廃棄をする、いわゆる消費生活の延長線上の中にあるということです。私達の病院はベッドが315床あるのですが、その300所帯余りの家庭が集まったというようなことです。その家庭に来院もあるし、また色々な業者さんも出入りします。そういう中から色々な消費物があ、り、廃棄物が出てくるという、一つの流れを見極めたわけでありま。す。このOHPはよく使われる表であります、私達の病院の中は、工場で大量に生産された物を、大量に多品種にわたって使用している。そしてそれを大量に廃棄しているという流れです。このことは自然破壊に繋がっていく。または、その大量生産をする前の、たくさんの物を世界中からいっぱい集めてきて、それを工場の中で生産していく過程でも、やはり大量採取をして、自然破壊をしていることをここで見たわけでありま。す。

(OHP 7)

環境保全に対する私たちの考えをまとめ、マネジメントシステムを構築して、昨年(1997年)10月1日にこのシステムを動かすということで、理事長から内外に環境方針というものを発表しました。この環境方針は、環境に対する理念を院内の組織内に浸透させるということでも使われていますが、同時に、理念を形骸化しない為に、外に向かって私達の経営の理念、目的を発表していきます。病院に出入りする人達、職員をはじめ、皆が環境方針への取り組みを標語にしたワッペンを付けています。これは新しく環境方針を理念に置き換えた内容のものでありまして、こういう物を患者さんにも、そしてご家族の方にも、内容を手渡ししていくというようなキャンペーンに入ったわけです。

(OHP 8)

それと同時に、環境マネジメントシステムが、環境だけのことでなく、それぞれの業務の中にもマネジメントのシステムとして定着しつつあります。例えば、このOHPは看護部のナース達が作ったものであります。環境ということに焦点を置いて、自分達の仕事の周辺の業務がどのような物品を使い、またはエネルギーを使って、アウトプットであるサービスを作り出

OHP 6

OHP 7

OHP 8

していくかということ进行分析したマンガなんです、実は環境だけではなく、看護サービスの側面を分析することにも、このマネージメントシステムが使われているということになります。

(OHP 9)

これは環境側面抽出の表ですが、これなどはリスクマネージメントの抽出表にも使えるのではないかと思います。

(OHP10)

そういうようなことから、マネージメントの目標設定を、誰でも見える形で院内のキーステーションになる所に掲げ、この目標の達成度の見直しを毎月1回必ず運営会議で行うようにしております。

(OHP11)

これは活動の内容の一つです。夏は全館の冷房を24度から26度に徹底することができて、既に結果が出ているのですが、エネルギー使用量もかなり安定したものが掴めてまいりました。

(OHP12)

これは、在宅ケアセンターの職員が職場でどのようなチェックリストを作っているかという一つのサンプルであります。OHP13も同様です。エアコンであるとかコピーペーパーにまで至っています。OHP14, 15も同じです。こういうようなチェックリストが組織の中に、マネジメントの道具として浸透しているということです。

OHP16は一番新しいものですが、冬は暖房の温度を18度から22度という設定をしまして、患者さんをはじめ出入りをする利用者の方々も、家庭でこのことを実行しましょうというような呼び掛けをしています。

以上のような環境保全のコアになる活動を、東京都の病院協会の中でも、仲間を募って始めてまいりたいと思っております。

こういうようにグローバルスタンダードという視点から、ISO14001は世代を超えて追求する理念というものを組織全体に浸透させていくときの、非常に重要な道具になるという一例を皆さんにご紹介し、そして是非皆さんも、そういう道具の活用を医療の最前線においてなされてはいかがかと提案させていただきたいと

OHP 9

OHP10

OHP11

今、ゴミだとかエネルギーを中心にお話しをしましたがけれども、ここで基本に戻っていただきたいのですが、環境問題というのは科学技術だとか、あるいはビジネスという問題ではありません。これは哲学と教育とコミュニケーションの問題であります。どういう哲学を地球に対して皆さんが持つかということでもあります。

それからISOという言葉が出てきましたけれども、ISOというのは元々製造業が製造する製品に対して作った国際基準でありましたけれども、最近有名なのは、マネジメントシステムの国際基準です。この地球環境の問題でマネジメントシステムが出来ています。

何故我々が取り上げたかということ、根本的な問題であります。まず、ここにおられる皆さん、自分は地球環境問題には関係ないと言える方は一人もいません。ですから全ての人に共通の問題であるということ。それから、マネジメントシステムですから、組織を運営していく中で、全員が共通の課題を持って一人一人が自分で取り組むということが非常に役に立つということ。最後に一番重要なことでもありますけれども、医療というのは人が生きること死ぬことに直接関わる仕事であります。地球環境問題というのは人が存在すること、まさに地球環境問題であるということから我々は取り組んでいるということで、是非皆さんも一人一人の立場で、あるいは組織という立場で、取り組んでいただきたいということをお願いいたします。



東京都病院協会副会長

河北 博文